

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年3月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1174500767
法人名	株式会社 日本社会事業開発研究所
事業所名	グループホームまつの木苑
所在地	〒369-1108 埼玉県深谷市田中95-1 (電話) 048-578-1191

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成21年3月23日

【情報提供票より】(平成21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月8日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤7人, 非常勤0人, 常勤換算6.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り
	2階建ての2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	22,500円+実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	150 円
	または1日あたり 円			

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2		1 名	
要介護3	4 名	要介護4		2 名	
要介護5	1 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 75.4 歳	最低	65 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小川赤十字病院、川本メディカルクリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旅館を改築したホームであり、木造2階建ての落ち着いた外観である。最寄り駅から徒歩で10分程の住宅街にあり、1階部分でデイサービスを行っている。法人全体としては、複数のグループホーム及びデイサービスを運営しており、法人本部において統一した書式やマニュアルが整備されている。地元の職員が殆どであり、自治会に加入して地域との交流も積極的に行っている。手作りおやつとして、よもぎ饅頭やミルク餅を職員が作っており、家庭的な雰囲気のホームである。外出の機会も多く、カラオケやレクリエーションを行い、利用者の生活意欲を引き出す支援を行っている。また、朗読ボランティアやアニマルセラピーのボランティアも来てくれて、利用者への個別的な生きがい作りを行っているグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題としては、地域密着型サービスとしての独自の理念の作成、改善シートによる計画的な改善、運営推進会議の開催、市町村との連携及び重度化や終末期に向けた方針の共有であった。その改善状況については、職員会議で話し合い、改善シートによって計画的に改善に努めるとともに、運営推進会議のメンバーを選出し、開催の準備をしている。市町村との情報交換も積極的に行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、職員会議で話し合い、職員の意見をとりまとめて管理者が作成している。職員は自己評価の意義について理解しており、自己評価することにより、より良いグループホームづくりへ向けての意識を高めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議については、これまでは実施されていない。構成メンバーを決めた段階で、開催に向けて準備をしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情担当者が明確になっており、家族が意見や苦情を言える体制にはなっている。家族から出された意見や苦情については、連絡ノートを作って全職員に伝えるようにしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会に加入し、地域の行事には積極的に参加している。地元の職員も多く、地域のボランティアを受け入れて交流を深めている。避難訓練を行うときには、近隣の住民に声をかけて、協力体制を作ろうとしている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人本部の理念として、利用者の尊厳を守り自立した生活が送れるようにとの目標を掲げている。ホーム独自の地域密着型サービスの意義と役割を謳った理念は作られていない。		地域密着型サービスの意義と役割を盛り込んだホーム独自の理念を職員と共に作り上げることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時や月に1回の職員会議において、ホームの運営理念について話をして、理解してもらうように努めている。利用者の尊厳を尊重したケアサービスを提供できるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入して、地域の行事に積極的に参加するようにしている。また、地域の清掃活動や美化運動に参加したり、地元の小学校の運動会へ見学に行ったりすることで地域の人々との交流を深めるようにしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については、職員会議で話し合い職員の意見を取りまとめて管理者が作成している。外部評価の改善項目についても職員会議で話し合い、職員全員で前向きに受け止め改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、構成メンバーを選出した段階であり、開催に向けての準備をしている。		運営推進会議を開催し、地域の人や利用者家族の意見がホームの運営に反映する体制づくりが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者へは、利用者の状況などの報告の時には、情報交換にも努めている。生活保護を受給している利用者もいるので、連携を深めるようにしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の生活状況については、毎月の預かり金の報告の時に書面にまとめて家族に送付している。ホーム便りも月刊で家族に送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情担当者が明確になっており、家族からの相談苦情については重要事項説明書に明記し説明している。利用者及び家族からの意見や苦情については、クレーム集として記録に整理し、職員に伝えて協議し改善に取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	地元の職員も多く、利用者とも顔馴染みの関係であり、職員の異動や離職は最小限になるように努めている。管理者は職員と一対一で話し合う時間を作り、職員の悩みなどを聞くように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同じ法人内に5つのグループホームがあり、法人内での研修や各事業所内での勉強会を実施している。県の介護普及センター等の外部研修への参加も支援しており、参加した職員は報告を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協議会などに参加し、情報交換を行っている。また、同じ法人内の同業者との連携がとられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者が入居するまでには、体験入居やホーム見学を実施して、納得したうえで入居してもらえるように努めている。デイサービスも行っているため、デイサービスを利用することで馴染みの関係を築いて入居する方もいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と共に手作りおやつを作っているため、よもぎ饅頭の作り方を利用者にも教えてもらったり、共に支えあう関係づくりに努めている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の意向や暮らし方の希望を確認し、個々の利用者に応じた自立した生活を支援している。ホーム側の意向を押しつけたりせず、利用者のペースで生活できるように支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>包括的自立支援プログラムのアセスメントシートを使用してアセスメントを行い、利用者本人及び家族からの意向を確認して介護計画を作成している。できるだけ利用者及び家族の意向が反映するように配慮した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画に基づいて、日々の介護を実践しケース記録に整理している。利用者の状態が変化すれば、再アセスメントを実施して原則6か月ごとに介護計画の見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、かかりつけ医への通院時の送迎や理美容院や買い物などの支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者及び家族の納得を得て、ホーム協力病院の医師に主治医の変更を了解してもらっている。月に1回は主治医が往診に来てくれ、必要な時には通院時の支援を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状態が重度化した場合には、主治医や家族と話し合いながら方針を決めて対応している。重度化した場合にどこまで対応するのか、ホームとしての方針は明確化されていない。		利用者の状態が重度化した場合には、ホームとしてどこまで対応するのかといった方針を明確にし、主治医や家族と共有できるように明文化することが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を傷つけないように配慮し、個人を大切にさりげない支援を行っている。個人情報の取り扱いについてもマニュアルがあり、利用者の個別の記録や書類の管理にも配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向やペースを尊重して、その日を思い思いに過ごせるように支援している。職員側の日課を押しつけるのではなく、利用者の意向を聞いて可能な範囲で対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食と夕食は宅配の業者に委託しているが、利用者の状態に応じて、きざみやお粥等の配慮がされている。利用者と一緒に手作りおやつとしてよもぎ饅頭やミルク餅を作っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や健康状態等に配慮しながら、週に2回以上は入浴ができるようにしている。できるだけ利用者個人の希望にそえるように、ゆったりと入浴が楽しめるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の身体状況に応じて、食事の準備、洗濯物たたみ、掃除などの役割を持ってもらい、生活意欲を引き出すように支援している。カラオケで歌を歌ったり、アニマルセラピーで動物に接したり、楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には日常的に散歩の機会を作り、季節の花々を見に出かけたり、朝食の食材の買い物に出かけたり外出の機会を多く作って支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム前の道路は交通量も多く危険であり、利用者の不意な外出には配慮している。職員体制や状況に応じて鍵の開閉を行っているが、基本的には開放の方針である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画書に基づいて定期的に訓練を実施している。訓練を行う際は近隣の住民に訓練をすることを伝えており、近隣の協力体制が得られるように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、利用者個々の食事摂取量のチェックを行い、状況の把握に努めている。昼食と夕食については、配食サービス業者に委託しているため、カロリー計算がされ栄養バランスに配慮されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	旅館を改築しているため、家庭的な雰囲気での共用スペースは広くゆったりしている。行事の写真が掲示されており、明るく不快な環境にならないように配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、使い慣れた家具や家族の写真が飾っており、居心地よく生活できるように工夫されている。		